

とくしまビジネスリスティングスクール

事業のポイント

■ 平成17年度から実施している徳島県内企業の将来を担う中核人材を対象とした講座に加え、令和5年度からは、経営者及び社員が共に学び、実践する企業風土づくりを育むことを見据えた、エンゲージメントマネジメント講座を開始し、事業を展開している。令和6年度には、講義内容の質的充実を図り「とくしまビジネスリスティングスクール」として新たに開講した。

事業の概要

1. 事業の目的

本講座は、平成17年度から開講し、県内の優れた技術力をもとに信頼性の高い産業製品を提供している企業において、次世代を担う人材育成を目的として講座を実施してきた。今日においては、少子化現象のために企業の人材不足が大きな問題となっており、各企業における従業員の能力開発が今後ますます重要である。しかも、現在の社会変革を顧みると、技術者だけでなく多くの企業人にとっても新たな知識習得が求められており、かつ、優秀な人材を県内企業に定着させて発展及び成長を促すことは、本学の使命である地域貢献の実現につながる。これらを踏まえ、従来の技術講座に加え、経営的な講座を取り入れ、多角的に物事を捉えることのできる、企業における核となるべき人材を育成する。

2. 事業の取組状況

開講20年目を迎え、以下の13講座を開講した。

講座名	時間数
エンゲージメントマネジメント講座	25.5H (4H×5回、5.5H×1回)
人を大切にする経営学講座	21.5H (4H×4回、5.5H×1回)
ビジネス学講座	22.5H (1.5H×15回)
サーキュラーエコノミー基本講座	10H (2H×2回、3H×2回)
生産管理講座	15H (3H×5回)
マーケティング講座	15H (3H×5回)
3D-CAD講座	24H (3H×8回)
LED活用入門講座	15H (3H×5回)
次世代リーダー育成講座	15H (3H×5回)
建設インフラDX講座	15H (3H×5回)
ロボットプログラミング講座	24H (3H×8回)
AIエンジニア育成講座	24H (3H×8回)
ベンチマーク視察	6H (3H×2回)

事業代表者・連絡先

田中 俊夫 (徳島大学人と地域共創センター・センター長)

〒770-8502 徳島市南常三島町1-1

tel: 088-656-7276 fax: 088-656-7277

e-mail: kygakusk@tokushima-u.ac.jp

3. 事業実施による成果と今後の展開

毎年、講座の内容について検討を加えながら開講しており、これまでに累計1,861名の企業人が受講し、各企業において中核人材として活躍している。

令和6年度は、従来の技術講座及び令和5年度に新設した人的資本経営に重点を置いた講座をさらに充実させるとともに、学生と共に学ぶ講座の新設、ベンチマーク視察や講義・実習を行った。

「サーキュラーエコノミー基本講座」や「建設インフラDX講座」など、時代の流れに即した講座を新たに実施している。

上述の講座の他、引き続き経営者の意識改革、中核を担う人材育成・社会人教育の一助となる講座を実施し、受講者がより興味・関心をもつ新しい技術講座や企業に役立つ経営講座などを企画し、本事業を発展させていきたい。



エンゲージメントマネジメント講座実施風景



ベンチマーク視察実施風景



ロボットプログラミング講座実施風景

とくしま健康寿命からだカレッジ

事業のポイント

■ 徳島県との連携により、徳島県民の健康寿命延伸を実現するため、医療・健康関係の講義実習を開講して地域ボランティア並びに地域リーダーを育成、徳島県下における健康力向上の仕組を広める活動を実施。

事業の概要

1. 事業の目的

徳島県との連携により、講義及び実習を通じて徳島県民の健康寿命延伸の実現とそれに係る地域ボランティア並びに地域リーダーの育成を目的とする。

2. 事業の取組状況

令和元年10月に基礎課程を開講以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも、令和3年度には専門課程を開講し、その後も継続的に基礎課程及び専門課程を実施してきた。

令和6年度は、第3期専門課程を5月から7月の間に実施し、受講者数19名、うち17名が課程を修了して徳島県知事と徳島大学長から健康寿命パートナーの称号を付与された。また、専門課程修了者を対象とした、とくしま健康寿命マスター資格認定試験では13名が合格し、資格認定者は計28名となった。

令和4年度から開始した「健康寿命キャラバン」事業はとくしま健康寿命マスターによる実演指導講座であり、令和6年10月から2月にかけて、徳島県下の5市町村（鳴門市、佐那河内村、牟岐町、松茂町、上板町）にて開催した。また、昨年度から開始した本学教員によるビデオ講座「とくしま健康寿命からだカレッジ mini」では、3町（上勝町、神山町、美波町）の地域住民を対象として指導を行った。

3. 事業実施による成果と今後の展開

令和7年度は、5月から8月の間で第4期専門課程を開講、9月から翌年2月の間で第5期基礎課程を開講する。また、第4期専門課程修了者を対象として、第4回とくしま健康寿命マスター資格認定試験を実施する。さらには、健康寿命キャラバン活動、とくしま健康寿命からだカレッジ mini を継続して実施し、徳島県下市町村の広範囲に展開していく予定である。

事業代表者・連絡先

田中 俊夫（徳島大学人と地域共創センター・センター長）
〒770-8502 徳島市南常三島町1-1
tel: 088-656-7276 fax: 088-656-7277
e-mail: kygakusk@tokushima-u.ac.jp



脳活運動の指導1 講義実施風景



脳活運動の指導2 講義実施風景



救急法 講義実施風景

公開講座・次世代光技術講座

事業のポイント

■（公開講座）大学における教育・研究の成果を広く地域に開放し、学びの機会を提供することを目的に事業を実施。
■（次世代光技術講座）光産業における、「新たな光の創出と応用」の実現に必要な研究・開発を担う分野横断型専門人材の育成等、地域人材の裾野を広げるための事業を実施。

事業の概要

（公開講座）

1. 事業の目的

昭和61年4月に学内共同施設として大学開放実践センターの設置以来、地域社会における生涯学習の拠点として、学内教員及び地域の有識者を講師とする講座を提供している。

2. 事業の取組状況

令和6年度は、春夏期472名、秋冬期456名の受講者により、春夏期40講座、秋冬期48講座を開講した。

分野名	春夏期 講座数	受講者	秋冬期 講座数	受講者
社会連携分野	1	6名	1	7名
人間・社会	9	64名	10	98名
自然・科学	1	0名	—	—
地域創生	3	22名	3	14名
情報・技術	3	35名	6	53名
芸術	1	18名	1	12名
語学・国際交流分野	8	66名	9	45名
健康・スポーツ分野	13	251名	15	200名
その他	1	10名	3	27名
計	40	472名	48	456名

3. 事業実施による成果と今後の展開

令和7年度においても、講座内容の見直し、新規講座の企画を行い、継続して講座を実施していく。

事業代表者・連絡先

田中 俊夫（徳島大学人と地域共創センター・センター長）
〒770-8502 徳島市南常三島町1-1
tel: 088-656-7276 fax: 088-656-7277
e-mail: kygakusk@tokushima-u.ac.jp

事業の概要

（次世代光技術講座）

1. 事業の目的

光産業における「新たな光の創出と応用」の実現に必要な研究・開発を担う地域人材の裾野を広げることを目的として、本学ポストLEDフォトンクス研究所の教員による講座を実施した。

2. 事業の取組状況

令和3年度から開始し、4回目の開催となった本事業は、「先端光計測技術入門」として専門の方から一般の方にも分かりやすい講座とすることで、「見えない光」の可能性について広く関心を持ってもらい、「光応用専門人材」の裾野を広げる講座として実施している。令和6年度の参加者は、25人、うち高校生2人、大学生2人、企業関係者等21人であった。

講座名	実施日	受講者数
ナノフォトンクスやメタマテリアルを用いた最先端光計測	令和6年7月27日(土)	25名

3. 事業実施による成果と今後の展開

若年層から社会人を対象とするリカレント教育講座として、継続して実施する。

まちしごととファクトリー

事業のポイント

■ 小さな地域での起業は、「まち」との連携を柱に「しごと」を組み立てることが大切であり、地域の中でしごとを創りだし、地域を少しずつ変えていく。そんな取組を応援し、地域の新しい担い手を創り出す場が「まちしごとファクトリー」。

事業代表者・連絡先

山中 英生（人と地域共創センター・副センター長）

〒770-8502 徳島市南常三島町1-1

tel: 088-656-9752 fax: 088-656-9880

e-mail: chkoukenc@tokushima-u.ac.jp

事業の概要

1. 事業の目的

本事業は、徳島大学、徳島新聞社、徳島県信用保証協会の連携により、地域で「まちしごと」を創り、実践するアクターを創り出すことを目的とした事業で、令和6年度で10年目となる。

2. 事業の取組状況

●キックオフセミナー（7月6日）

現地会場とWeb会議ツール「Zoom」を活用したオンラインによるハイブリッド形式で開催され、社会人や学生など約30名が参加した。ゲスト講師4名（TABBY ICE CREAM オーナーパティシエ 神例早紀氏、AYA クリエイトィブ 代表 松坂智美氏、株式会社 OSATO 代表取締役社長 篠原諒氏、同営業部 鈴江ひかり氏）に登壇いただき、起業の経緯や事業の内容、今後の展望等についてお話しいただいた。



●まちしごと実践講座（7月9日、16日、23日）

徳島大学の授業「社会学のパスペクティブ」との合同で開催。本学の矢部拓也教授が講師を務め、矢部教授が実際に関わっている地域での「まちづくり」事例について、全3回の講義で取り上げた。第3回の講義では、吉野川市より市長と地域おこし協力隊の方々をゲストに迎え、活動内容等について紹介いただいた。



●まちしごと実践塾（10月19日、12月14日）

徳島県信用保証協会が中心となり、起業に興味のある社会人や徳島大学の学生等を対象に、全2回の創業に関するセミナー&ワークショップを行い、ビジネスプランの作成を支援した。第2回では（株）Fobs 代表取締役 西村耕世氏と価値基準・ヒト（株）代表取締役・花咲かねーさん企業

組合 代表理事 尾崎恵里氏がゲストとして登壇。自らの起業体験をもとに受講生にアドバイスした。また、受講生は独自の事業計画を考え、プレゼンした。



●エクスカージョン（12月21日）

地域おこし協力隊による「まちしごと」の現場を視察するため、市民や学生ら約20名が徳島県吉野川市を訪問。地域おこしの現場（アートハウス & 工房「toco」、日本フネン市民プラザ（吉野川市民プラザ）、鴨島駅前商店街）を、それぞれを拠点に活動する協力隊員にガイドいただきながら巡った。



●ビジネスモデル特論

徳島県信用保証協会の森卓史 地方創生アドバイザーが講師を務める徳島大学大学院の公開授業を後期に全12回実施。ビジネスモデルの組み立てなどを講義、実習及びグループワークで学んだ。



●クロージングセミナー（2月1日）

今年度最後のセミナー。前半は、ゲストとして神山まると高専の副校長 鈴木敦子氏が登壇し、神山まると高専の取組事例や起業家精神の育成方法等について講演いただいた。後半は mini アワード 2024 を開催。事前にエントリーした受講生が登壇し、それぞれが考えた事業についてプレゼンした。プレゼン終了後、特に優秀な発表をした受講生を表彰した。